

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名		A 一般事務事業			
スポーツ活動を「ささえる」体制づくり(地域スポーツ推進事業)		シート番号		08-93	
担当部署名		文化観光 局		スポーツ 部	
		スポーツ推進 課		評価責任者(課長名)	
				小川	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 32 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	スポーツ基本法			
	4	関連計画	第二次スポーツ推進計画			
5	事業実施の経緯	●昭和32年に初の体育指導委員を委嘱。昭和36年のスポーツ振興法施行を機に、各小学校区と競技などの専門委員を委嘱し現体制となった。平成23年のスポーツ基本法施行により、「スポーツ推進委員」と改称。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	幅広い世代の市民がスポーツを通じて地域間・世代間において相互に交流できるような環境づくりめざし、スポーツ関係団体が相互に連携できる仕組みや体制づくりの支援、大学との連携等、スポーツに関わる組織体制の充実を図る。またスポーツを継続的かつ効果的に実施する人や地域を支えるための人材を育成し、ボランティア活動の魅力等を伝える。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	(1)スポーツ指導者や市民ボランティアの養成 ●研修会の開催や堺市民オリンピック等のイベント開催を通じてスポーツ推進委員のスキルアップを図るとともに、校区毎のスポーツイベント開催によりスポーツ推進委員を核とした地域コミュニティの醸成を図る。 ●市のスポーツイベント(堺市民オリンピック、堺市障害者スポーツ大会等)への協力や地域の職場等のスポーツレクリエーション活動の指導を行っている堺市ボランティアスポーツ指導者会と引き続き連携し、市民のスポーツ活動を支援していく。 (2)スポーツ関係団体との連携 ●大学と地域が連携したスポーツ活動を支援するとともに、堺体育協会などのスポーツ関係団体が実施する事業間の連携を強化し効果的・効率的にスポーツ施策を実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

Ⅲ. 投入量

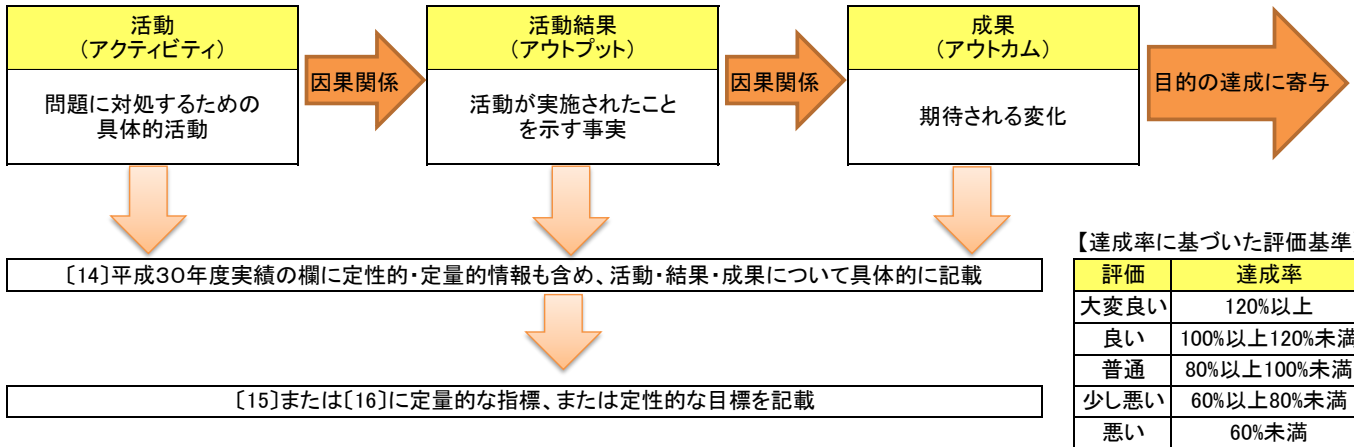
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	3,406	3,950	3,307	3,768
	主な事業費内訳	スポーツ推進委員報酬	千円	1,931	1,872	1,944	2,008
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
受益者負担金(使用料、手数料等)		千円					
市債		千円					
	その他 ( )	千円					
	一般財源	千円	3,406	3,950	3,307	3,768	
12	人件費 (b)	千円	8,200	8,200	8,200	8,100	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	11,606	12,150	11,507	11,868	

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	スポーツ活動を「ささえる」体制づくり(地域スポーツ推進事業)	シート番号	08-93
-------	--------------------------------	-------	-------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>堺市民オリンピックの運営や参加者について、堺市民オリンピック委員、各区のスポーツ推進委員を中心に調整し、各校区自治連合協議会役員の協力を得ながら盛大に開催することができた。また、校区によってはスポーツ推進委員が中心となってウォーキングイベント等を実施するなど、地域スポーツ活動を支える役割を果たしている。</p> <p>14 研修会では、昨今大きな社会問題となっている「熱中症対策」についての講義を行い、事故を未然に防ぐ方法や事故が起きた場合の対処方法等について改めて認識する機会とできたほか、推進委員自らが運動する機会をつくるなど、スポーツや健康に対する意識向上に努めた。その他、ボランティアスポーツ指導者会等により、各イベントを円滑に進めていくことができた。</p> <p>一方、健康スポーツリーダーバンクというスポーツ指導者の登録制度があるが、市内の部活動には派遣されているものの、地域スポーツ行事等には派遣実績がほとんどなく、この側面からは有効に機能しているとは言い難いのが現状である。</p>							
	15	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		スポーツ推進委員設置自治会数	校区	目標値	94	94	94	94
				実績値	94	94	94	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		全小中学校区でのスポーツ推進委員設置					
	16	目標						
		スポーツ界における諸課題や社会情勢等を的確に捉えたテーマで研修会を実施する。						
		目標に対する実績	熱中症対策をテーマとした研修会を実施。					

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>各校区からスポーツ推進委員が選出されており目標を達成できているが、高齢化等を要因として担い手が不足している地域もあり今後の大きな課題となると認識している。また、猛暑や大雨・台風などの自然環境に起因する事故やパワハラ等の事象などこれまで予期しなかった事件・事故が多発しているとともに、スポーツを取り巻く環境も刻々と変化していることから、危機管理を徹底することは重要であり、引き続き研修会等において周知を図っていく必要がある。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。